

「地域住民の関わり方」について

地域住民の関わりに関する基本的な考え方

～地域で「(仮称)地区センターを支える会」を設立。「より使いたくなる施設」「人の心の結びつきが育つ施設」となるように運営をサポートしよう！～

指定管理者の役割

- ・ 具体的な運営を担う。
- ・ 利益も考え、経営面を担う。
- ・ 運営管理全体の統括を行う。
- ・ 指定管理者は地域の人ではない可能性も。地域と望ましい運営についての情報交換が必要

・どんな運営を望んでいますか？
・実は困っています…

相談・改善
意見交換
相談・協力

・使いにくいところがある…
・こういう企画があるといいな！
・お手伝いや参加できるよ！

(仮称)地区センターを支える会の役割

- ・ 地域の希望・要望や苦情を指定管理者に整理し伝える。
- ・ 指定管理者の抱える課題を地域に伝える。
- ・ マナーやモラルの課題解決に協力。
- ・ 指定管理者と程よい距離感をたまちながら館の運営サポートや企画支援を実施。
- ・ 指定管理者・地域・利用者の連携や新しい活動を生み出すコーディネーター。
- ・ 地域にイベント参加の呼びかけを行う。

まずは会の基盤づくりが重要

- ・ これまで(仮称)清田区地区センターについて議論してきた「考える会」委員などを中心メンバーとして始動し、各地域の活動団体に声をかけ基盤をつくる。
- ・ 中心メンバーはこれまで考えてきたエネルギーを生かそう。
- ・ まずは基盤・体制づくりが重要。計画や運営の考え方・経過を定着させる。その後いろいろな人材、若い世代を巻き込む。
- ・ オープン前からの活動が重要！

会の名称案は…

- ・ とともに考える会
- ・ サポーターズクラブ
- ・ 協力隊
- ・ 運営委員会
- ・ 支える会
- ・ とともに歩む会
- ・ 見守り隊
- ・ 協力委員
- ・ 運営協議会
- ・ ……など

会の基盤ができてきたら… 会の仕組みのイメージ

ボランティア登録

- ・ 子どもの見守りや前庭の冬囲い、花壇の植栽、図書管理、清掃、イベント運営補助、アマチュア講師…など色いろな役割が考えられる！
- ・ まずは団体単位で登録。活動、利用しながら広がりをつくる！
- ・ ボランティアの管理はボランティア自身か、指定管理者か…。
- ・ 有償ボランティア制度も検討してみてもは。
- ・ ボランティアはスタッフカード等を所持。子どもたちも登録可。地域の一員！

様々な人材の協力を

- ・ 忙しい人への地域参加への配慮を。できるときにできることを。
- ・ 開館後は委員やボランティアでない利用者みなさんにも参加してもらえる機会をもつ。

(仮称)地区センターを支える会

- ・ 活動団体などのネットワーク組織。
- ・ 各活動団体の特徴や個性をいかす。
- ・ 新しい活動を生み出すコーディネーターの役割。
- ・ 利用団体等のリーダーらが参加・調整。
- ・ リーダーは日中こまめに動ける人。
- ・ やってみて、やらせてみせて共にやるリーダー！
- ・ 女性の活躍を期待。
- ・ 清田区みんなの施設。里美地区以外の方にも参加してほしい。
- ・ ITや子育てなど、地域住民から専門家が加わるのが望ましい。

理事会的な組織が必要

- ・ 行政や指定管理者との調整・交渉を行う。
- ・ 利用者の意見や提案を受け取り、調整する役割。
- ・ (仮称)支える会委員やボランティア参加者の負担を軽減する(現場から調整・交渉までの参加は負担が重い)。
- ・ 地域団体(自治体、自治会、サークル団体…)などのトップリーダーが所属。
- ・ 人の意見を良く聴いて調整できる人(ワンマンは×)。

これまで「考える会」は区が主催し住民が参加してきた。
今後は住民による「(仮称)支える会」が中心となり、区に協力してもらう活動へ！